

ミシンボランティアの先生方に協力いただきました。



冷え込んだ朝になりましたが、日中は日差しには春の足音を感じます。今週は6年生の家庭の授業に、村のミシンボランティアの先生方から協力をいただいています。



普段の生活の中では、布を縫って何かを作るという経験が少ない子どもたちですが、自分の選んだ布がバックや袋になるということもあり、熱心に学習に参加していました。



糸のセッティングができるととても便利なミシンですが、そこに至る段取りがなかなか難しいのも事実です。ボランティアの先生方の協力を本当にありがたく思います。



平面である布で立体である作品を作るために必要なゆとりや縫い代についても、ボランティアの先生方に確認をしていただきながらミシン縫いの作業を進めました。



なお、現行の学習指導要領では、中学校でミシンの操作についての学習内容はありません。つまり中学校では、「子どもはミシンを使える」という前提で授業が進みます。



準備が少し難しいミシン縫いですが、これまで経験してきた手縫いに比べて丈夫で早く縫えるという特徴を、子どもたちは体験を通して理解できていたと思います。